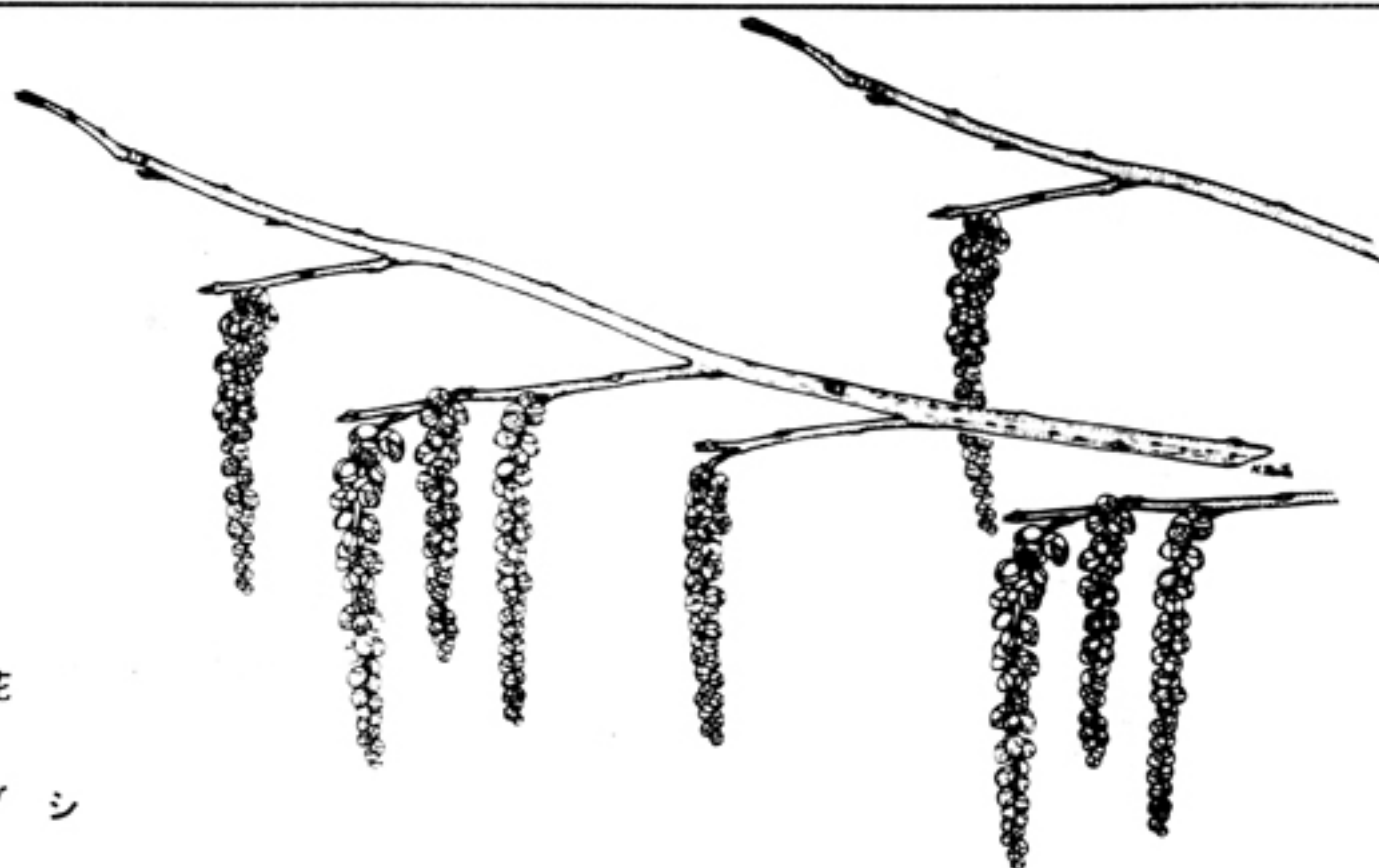




3月の花

キブシ

雑木林に春を告げる植物は、草ではタチツボスミレやシュンラン、木ではモミジイチョゴやキブシといえるでしょう。玉すだれに似たキブシの花は決して派手ではありませんが、新芽の萌え出す前

の一面セピア色の林では、その黄緑は心躍る明るさを持っています。枝には白く太いずいがあり、ヤマブキと同じように、竹で作った鉄砲の玉にした思い出のある人もいると思います。

4月の行事

●星を見る会

月と惑星を見よう。

日時 4月25日(金)午後6時～8時

申し込み 4月15日までに往復ハガキで。

定員 30名。応募多数のときは抽選で。

●自然観察会

春の自然をたずねて(鷹取山)

日時 4月20日(日)午前9時～15時。

申し込み 4月10日までに往復ハガキで。

定員 30名。応募多数のときは抽選で。

3月の行事

○自然観察会

「真鶴岬の自然」

日時 3月23日 午前9時～15時。

○体験学習シリーズⅥ 41

「鏡をみがこう」

日時 3月25日～29日の5日間。



博物館では、昭和54年度も、種々様々な市民参加の行事を行ってまいりました。

これら数多くの行事に一度ぐらいは、参加されましたか。

「単なる遊びとして行事がもたれるのではなく色々な行事を、時に親子で、時に勉強をかねて実施している点、私には大変興味深い」あるいは、「教わるという一方通行でなく、自主的な活動を通して始めて行事参加の意義を見つけることができるようです」という言葉を聞く時、なぜか、私達の館活動がその一端でも軽くわれたような感じがします。

館行事参加をキッカケとして、幾つかの市民グループも育ちつつあります。

様々な調査についても、市民の方々の手を借り調査を進める機会も多くなりました。

市民の方達にも顔見しりの方々が増えました。それだけ、館が一步一步皆さんの中に定着した証拠でしょうか。来年度もまた、活発な館行事を計画していくつもりです。まだ一度も行事に参加したことのない方は、機会を見て、是非、参加してみませんか。「はくぶつかん」を読むあなたのことです。

自然観察会 ● です。 体験学習 ○ です

4月

第4回デッサン教室

期間：5月から来年3月まで

古文書読誦会

期間：5月から来年3月まで



5月

●初夏の自然をたずねて(高麗山) ●植物のスケッチ(吉沢)

○足半(あしなか)を作ろう。 ○土器をつくろう。

6月

54年度 平塚市博物館の年間行事の歩み

7月

夏期特別展「星座と星たち」 会期：7月21日～8月31日

市民のアトリエ 水彩教室

7月24日～8月3日

星を見る会



○草木で染めよう。

夏の特別展が、7月21日～8月31日までの間に開催されました。夏休み中とあって、小・中学生の来場で館内は薄暗い状態でした。そんな時徹夜の準備のつかれも飛んでしまいます。

53年度から実施されている、夏休み期間中の星を見る会(毎週土曜日)は、54年度も実施されたのですが、なぜか一日たりとも晴の日がなく全部中止となりました。館では、誰のせいであるのかともつばらの噂でした。

8月

博物館サマー・セミナー

8月14日～15日

平塚市土屋 七国荘



8月14日・15日の2日間は、1泊の行事としては、館はじめての行事、博物館サマーセミナーが実施されました。応募者は定員の倍以上となり多くの小・中学生に参加をあきらめてもらわなくてはなりませんでした。

自然観察入門講座

1) セミを調べよう。

7月25日(水)・26日(木)

2) 貝化石を調べよう。

8月 3日(金) 大磯町虫窪周辺

8月11日(土) 小田原市押切周辺

8月12日(日) 博物館にて整理とまとめ

夏休み自由研究相談会

7月27日・8月24日

石仏を調べよう

8月8日～16日



9月

入館者が30万人を越えたのは、9月20日のことです。30万人目は、市内田村にお住まいの志風友子さんでした。

●山の秋をたずねて(大山) ○土器をつくろう。

10月

秋期特別展「日本名刀展」

会期 9月20～10月9日



秋の特別展は、9月20日～10月9日までの間に開催されました。期間中、長雨にたたられた感じでした。

●神田地区観察会 ○紙をすこう。

11月

●地形図の使い方(弘法山) ○原色ドライフラワーを作ろう。

12月

●冬の自然をたずねて(霞生湖) ○おかざりを作ろう。

1月

●留給・城島地区観察会 ○陶器をつくろう。

2月

●ローム層の観察(土屋) ○骨格標本を作ろう。

3月

●海への自然をたずねて(真鶴岬) ○望遠鏡の反射鏡を作る。

お 知 ら せ

今年度のはくぶつかんには、市域の最新情報を、
展示解説をかねて幾つかのはくぶつかんの紙面を
かざりました。

- 「街の生きものたち」(5月号)
- 「露頭はかたる一地層見学ガイド」(6月号)
- 「井戸調査のもよう」(8月号)
- 「魚撈の伝統」(11月号)

などがそれです。

これを近々リーフレットとして受付案内で配布い
たします。ご希望の方は、申し出て下さい。

○プラネタリウム案内

観 覧 料 1人 100円

所要時間 1回 45分

定員 128人

観覧券の発売開始時刻と投影開始時刻

投影日		発売開始時刻	投影開始時刻
土曜日	1回目	12:00	13:40
	2回目	14:00	15:00
日曜日	1回目	9:00	10:30
	2回目	12:00	13:30
水・木	団体専用		

観覧券は、1人、1回、1枚しか発売しません

のでご注意ください。

乳幼児はご遠慮ください。

○博物館資料の寄贈・寄託案内

博物館では、博物館資料の寄贈・寄託を受け
ております。資料の提供をお考えの方は、一度博
物館へご相談ください。

○行事参加案内

博物館では、「ひらつか広報」「はくぶつかん」
さらには「新聞」紙上等々で、博物館が開催する
行事の参加案内をお知らせしております。応募の
方法は多くの場合、往復ハガキによる申し込み方
法がとられています。

この場合、応募のし方によってご期待にそえぬ
場合も生じることが最近多くなりましたので次の
点にご注意くだされば幸いです。

- 1 応募は原則として往復ハガキ1枚に1名です。
 - 2 1枚の応募ハガキで幾くつもの行事に参加依
頼があります。1行事に1枚の応募ハガキをお
使いください。
 - 3 参加申し込みハガキには、氏名・住所・年令
電話をかならず明記してください。
 - 4 応募期日を限守してください。
- 等々です。もちろん、上記要件にみたないものに
ついては、できるかぎりご期待にそえるよう対処
しております。

お問い合わせは下記へ

平塚市博物館 平塚市浅間町12-41
TEL 33-5111(代表)